

2018年4月号



## 最近の県内経済は、緩やかに回復している。

	個人消費は、足元やや低下。
個人消費	・2月の百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比 1.1%減と 2 カ月連続のマイナス。百貨店が同 6.4%減、スーパーが同 0.4%増となった。・2 月の各種小売業態販売額は、コンビニエンスストア(全店ベース)が前年同月比 0.1%増となった。その他の小売業態(全店ベース、増加率)は、家電大型専門店が同 1.9%減、ドラッグストアが同 6.4%増、ホームセンターが同 0.3%減となった。・2 月の自動車販売台数は登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比 0.9%減の4,628 台と 2 カ月連続のマイナスとなった。登録車が同 0.4%増と再びプラス、届出車は同 2.6%減と 3 カ月ぶりのマイナスとなった。
	住宅投資は、足元増加。
住宅投資	・2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 14.2%増と 2 カ月ぶりにプラス。持家が同 8.3%増、貸家が同 32.3%増、分譲住宅が同 6.9%増となった。
	公共投資は、足元低下も堅調に推移。
公共投資	・2 月の公共工事請負額は、全体で前年同月比 54.5%減の 42 億 3,100 万円となり、2 カ月連続のマイナスとなった。県が同 8.1%増となったものの、国(含む独立行政法人等)が同 81.5%減、市町村が同 54.3%減となり全体を押し下げた。なお 2017 年度 2 月迄の累計は、同 0.7%減となった。
一次産業	<ul> <li>【農業】</li> <li>・農林水産省の発表によると、2017 年県産米の相対取引価格(2018 年 2 月)は、「つがるロマン」が前年同月比 14.8%上昇の 1 万 5,356 円、「まっしぐら」が同 16.7%上昇の 1 万 5,125 円となった。</li> <li>・2017 年県産リンゴ販売は、2 月の県外出荷量が前年同月比 2.3%減、消費地市 場価格が同 7.3%上昇となり、県外市場販売額は同 4.8%増となった。</li> </ul>
	<ul><li>〔漁業〕</li><li>・2月の八戸港水揚げは数量が前年同月比77.4%増、金額が同95.6%増。</li></ul>
	生産活動は、足元やや低下傾向ながら、髙めの水準は継続。
生産活動	・1月の鉱工業生産指数(季節調整値)は、前月比0.7%低下の106.9と5カ月連続で低下した。電気機械、業務用機械、食料品、パルプ・紙などが低下した。なお、高めの水準は継続している。 ・原指数では、電気機械は上昇したものの、食料品、電子部品・デバイス、鉄鋼
	などが低下し、前年同月比 5.2%低下の 98.9 と 3 カ連続で前年同月を下回った。
設備投資	<ul><li>設備投資は、足元低下傾向。</li><li>・2 月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比 60.1%減の 7,598 m²と、6 カ月連続で前年同月を下回った。</li></ul>
	雇用動向は、改善している。
雇用動向	・2月の有効求人倍率は1.32倍と前月比横ばいで推移した。1963年の集計開始以来の最高値が2カ月続いたが、業種によっては人手不足が課題となっている。

### 米

#### 「つがるロマン」、「まっしぐら」とも前年同月比大幅上昇

農林水産省が発表した「2017 年産米の相対取引価格・数量(2018 年 2 月)(速報)」によると、県産米の相対取引価格(玄米 60kg 当たり税込み価格)は、「つがるロマン」が前年同月比 14.8%上昇の 1 万 5,356 円、「まっしぐら」は同 16.7%上昇の 1 万 5,125 円となった。

全銘柄平均価格は 1 万 5,729 円となり、前月比 0.9%上昇、前年同月比 9.8%上昇となった。価格が最も高かったのは、新潟「コシヒカリ(魚沼)」で 2 万 767 円であった。前年同月比でみると、上昇幅が大きかったのは、福島「ひとめぼれ」(17.7%)、青森「まっしぐら」(16.7%)、秋田「ひとめぼれ」(15.1%)、青森「つがるロマン」(14.8%)などであった。

#### ● 2017 年産米(東北・北海道主要銘柄)の相対取引価格の推移

(単位:円/玄米60kg税込、%)

産地	品種	17年9月	17年10月	17年11月	17年12月	2018年1月	18年2月	前月比	17年2月	前年同月比
青森	つがるロマン		14,818	14,690	15,118	15,041	15,356	2.1	13,372	14.8
月林	まっしぐら	14,249	14,569	14,619	14,805	14,862	15,125	1.8	12,959	16.7
岩手	ひとめぼれ	15,079	15,178	15,059	15,213	15,090	15,193	0.7	13,863	9.6
宮城	ひとめぼれ	15,105	15,324	15,700	15,478	15,429	16,011	3.8	14,071	13.8
秋田	あきたこまち	15,579	15,659	15,987	15,956	15,941	15,946	0.0	14,230	12.1
山形	つや姫	-	18,076	18,122	18,189	18,057	18,287	1.3	17,896	2.2
北海道	ななつぼし	15,874	15,840	15,646	15,922	15,785	16,305	3.3	14,357	13.6
北海道	ゆめぴりか	17,694	17,525	17,504	17,480	17,387	17,363	-0.1	17,110	1.5
全銘柄-	平均価格	15,526	15,501	15,534	15,624	15,596	15,729	0.9	14,319	9.8

<sup>(</sup>注)相対取引価格は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む 1等米価格を加重平均。

資料出所:農林水産省「2017年産米の相対取引価格・数量(2018年2月)(速報)」

### りんご

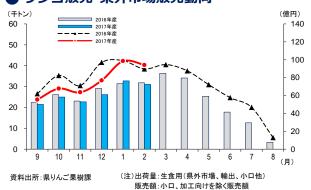
#### 県外市場販売額、前年同月比4.8%増

2017 年県産リンゴ販売、2 月の県外出荷量は前年同月比 2.3%減の 3 万 1,089 トンとなった。これは平年の 2 月出荷量を 8.0%下回る水準である。

価格面をみると、産地価格は、入荷量が少ない上に、消費地市場などのみかんなどの入荷量が少ない 状況が続いていることから、リンゴの引き合いが強まり、前年同月比 48.4%上昇、平年比較で 32.6%上 昇の 236 円/kg となった。消費地市場価格は、果実全体の入荷量が少なく高値基調の中、食味が良く、 販売しやすい小ぶりなものが多かったことから、全種平均で、前年同月比 7.3%上昇、平年比較で 6.9% 上昇の 310 円/kg となった。この結果、県外市場販売額は前年同月比 4.8%増、平年比較では 1.3%増の 93 億 9,700 万円となった。

(注) 平年とは、月毎の過去5年間の中庸3カ年平均値である。

#### ● リンゴ販売 県外市場販売動向



#### ● 消費地市場価格の推移(全種平均)



資料出所:県りんご果樹課

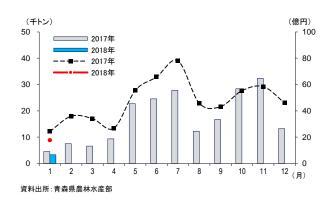
### 海面漁業

#### ホタテガイ(成貝)が大幅減少、数量、金額ともにマイナス

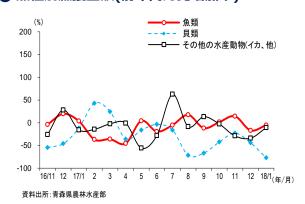
1月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比 27.2%減 3,300 トン、漁獲金額が同 27.5%減の 17 億 6,374 万円となった。前年同月に比べ、ホタテガイ(成員)の漁獲数量・金額が大幅に減少したことな どが影響した。

魚種別にみると、「魚類」は、マイワシなどの水揚げが増加したものの、スケトウタラ、ブリなどが 減少した。数量が前年同月比 1.7%減の 1,932 トン、金額は、同 5.2%減の 8 億 7,526 万円となった。「貝 類」は、ホタテガイ(成貝)が大幅に減少し、数量が同 66.6%減の 598 トン、金額は同 76.8%減の 1 億 6,116 万円となった。「その他の水産動物」は、近海スルメイカ・ヤリイカの水揚げが横ばいとなるも単 価の下落から、数量が同 1.0%減の 767 トン、金額は同 10.7%減の 7億 2,569 万円となった。

#### ● 海面漁業 漁獲数量と金額



### **) 魚種別漁獲金額(前年同月比増加率)**



### 八戸港水揚げ

### 水揚げが2月に集中、数量、金額ともに大幅増加

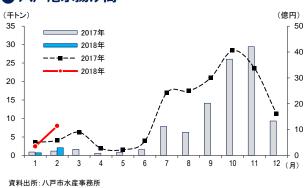
2月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比 77.4%増の 2,095 トン、金額は同 95.6%増の 11億 3,608 万円となり、数量、金額ともに前年を大幅に上回った。

イカ釣り漁は、アカイカ漁が不漁で例年より早く漁を切り上げ2月中に全船が帰港したため、昨年は 3月に集中した水揚げが2月に集中し、数量が前年同月比で約4.5倍の1,478トン、金額は同約4.2倍 の8億8,558万円と大幅に増加した。

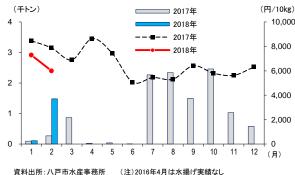
大中型まき網漁は、前年と同様、八戸港への水揚げはなかった。

機船底引き網漁は、八戸前沖のタラやスケトウタラ漁が、シケや漁模様の不調により、数量が前年同 月比 39.2%減の 446 トン、金額は同 39.6%減の 1 億 7.604 万円となった。

#### ● 八戸港水揚げ高



#### イカの水揚げ数量と魚価



### 鉱工業生産

### 5 カ月連続で低下するも、高水準は継続

1月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、2010年=100)は前月比0.7%低下の106.9なり、5カ月連続で低下した。

主要 6 業種をみると、電気機械が前月比 16.7%、業務用機械が同 7.7%、食料品が同 4.4%、パルプ・紙が同 4.2%、電子部品・デバイスが同 1.1%、鉄鋼が同 0.3%それぞれ低下した。

原指数で前年同月と比較すると、電気機械は上昇したものの、食料品、電子部品・デバイス、鉄鋼、業務用機械、パルプ・紙が低下し、前年同月比5.2%低下の98.9と3カ月連続で前年同月を下回った。

### ● 鉱工業生産指数



#### ● 業種別生産指数 (2018 年 1 月)

業種	季節調整	整済指数	原 指 数		
()内は一万分比ウェート	2010年 =100	前月比 (%)	2010年 =100	前年同 月比(%)	
鉱工業 (10,000.0	106. 9	△ 0.7	98. 9	△ 5.2	
食料品 (2,410.0	98.8	△ 4.4	88. 5	△ 9.7	
鉄 鋼 (1,200.9	97. 2	△ 0.3	97. 1	△ 6.0	
電子部品・デバイス (1,048.2)	172. 6	Δ 1.1	153. 1	△ 6.4	
業務用機械 (1,005.1	103. 9	△ 7.7	102. 7	△ 3.9	
パルプ・紙 (722.3	94. 4	△ 4.2	95. 7	△ 3.3	
電気機械 (429.2	103. 5	△ 16.7	84. 6	33. 0	

資料出所:県統計分析課

### 設備投資

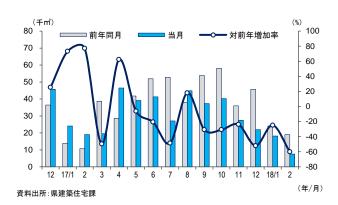
#### 建築物着工床面積(民間非居住用)、6カ月連続マイナス

2月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比 60.1%減の 7,598 ㎡と、6 カ月連続で前年同月を下回った。

用途別着工床面積をみると、運輸・通信業用が前年同月比 98.4%減の 125 ㎡、製造業・鉱業・建設業用が同 90.1%減の 176 ㎡、農林水産業用が同 87.3%減の 267 ㎡、他に分類されない建築物他が同 98.5%減の 30 ㎡と大幅に低下し全体を押し下げた。また、教育、学習支援業用が同 11.4%減の 1,525 ㎡となった。

一方、その他のサービス業用が前年同月比 282.4%増の 1,002 ㎡、卸・小売業用が同 31.1%増の 3,416 ㎡、医療、福祉用が 18.9%増の 1,057 ㎡とそれぞれ増加した。

#### ● 建築物着工床面積(民間非居住用)



#### ● 用途別着工床面積(民間非居住用)

用途別	2018年2月 (㎡)	2017年2月 (㎡)	前年同月比 (%)
農林水産業用	267	2, 107	△ 87.3
製造業、鉱業、建設業用	176	1, 781	△ 90.1
卸・小売業用	3, 416	2, 605	31. 1
運輸・通信業用	125	7, 629	△ 98.4
教育、学習支援業用	1, 525	1, 722	Δ 11.4
医療、福祉用	1, 057	889	18. 9
その他のサービス業用	1, 002	262	282. 4
他に分類されない建築物他	30	2, 025	△ 98.5
合 計	7, 598	19, 020	△ 60.1

資料出所:県建築住宅課

### 公共工事

#### 国、市町村が減少、2カ月連続のマイナス

2月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比54.5%減の42億3,100万円となり、2カ月連続のマイナスとなった。

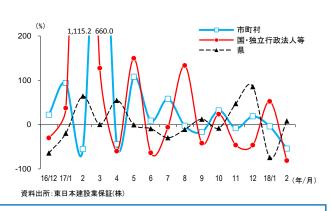
発注主体別の請負額は、国(含む独立行政法人等)が防衛省、国土交通省で大幅に減少し、同81.5%減の10億6,100万円となった。県は県土整備部、農林水産部が増加し、同8.1%増の24億4,500万円となった。市町村は、七戸町などで増加したものの、十和田市、弘前市、八戸市、青森市などで減少し、同54.3%減の3億9,100万円となった。

当月は、県は増加したものの、国が大幅に減少したほか市町村も減少し全体を押し下げた。 なお 2017 年度 2 月迄の累計は、同 0.7%減の 1,641 億 2,600 万円となっている。

#### ● 公共工事請負額



#### ● 発注主体別・月別請負額の推移(前年同月比増加率)



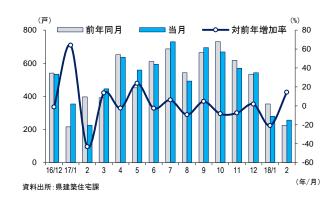
### 住宅着工

#### 2 カ月ぶりのプラス

2月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比 14.2%増の 257 戸となり、2 カ月ぶりにプラスとなった。 利用関係別では、持家が同 8.3%増、貸家が同 32.3%増、給与住宅が同 100.0%減、分譲住宅が同 6.9%増となった。

地域別にみると、全体では、青森市などで減少したものの、弘前市、つがる市、十和田市、三沢市、郡部などで増加した。持家は、青森市などで減少したものの、弘前市、八戸市、黒石市などで増加した。 貸家は、青森市で減少したものの、つがる市、十和田市、三沢市、弘前市などで増加した。分譲住宅は、八戸市などで減少したものの、弘前市、十和田市などで増加した。

#### ● 新設住宅着工戸数



#### ● 利用関係別戸数

#### 利用関係別戸数

(単位∶戸,%)

	2018年	2017年	前年
	2月	2月	同月比
持 家	144	133	8. 3
貸 家	82	62	32. 3
給与住宅	0	1	△ 100.0
分譲住宅	31	29	6. 9
総戸数	257	225	14. 2

資料出所:県建築住宅課

### 百貨店・スーパー販売

### 百貨店・スーパーの売上、2カ月連続マイナス

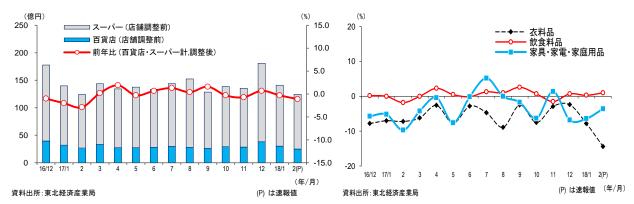
2月の県内百貨店・スーパー販売額(速報ベース、既存店)は、前年同月比 1.1%減となり 2 カ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同 6.4%減、スーパーが同 0.4%増となった。

品目別では、その他の商品が同 1.2%増、飲食料品が同 1.0%増と前年実績を上回った。一方、衣料品は同 14.4%減、家具・家電・家庭用品は同 3.6%減となった。

その他の商品は化粧品が好調だった。飲食料品は、野菜の相場高などもあり前年実績を上回った。 一方、衣料品は、降雪、寒冷の影響により客足が遠のき、婦人服、紳士服とも前年実績を大幅に下回った。家具・家電・家庭用品は、エアコンやファンヒーターなど暖房機器が順調な動きとなったものの、新生活需要関連の小型の白物家電や家具の動き出しが鈍く、全体では前年実績を下回った。

### ● 百貨店・スーパー販売動向

### ● 品目別売上高(既存店、増加率)



### 各種小売業態販売額

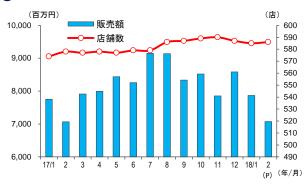
#### コンビニ、ドラッグストア前年比プラス

2月のコンビニエンスストア販売額(全店ベース)は、前年同月比 0.1%増の 70 億 7,900 万円となった。 店舗数は同 1.4%増の 586 店となった。

その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)をみると、家電大型専門店が同 1.9%減、ドラッグストアが同 6.4%増、ホームセンターが同 0.3%減となった。家電大型専門店は、前月までの 2 カ月は、ほぼ横ばいで推移したが、今月は減少幅がやや拡大した。ドラッグストアは、3 カ月ぶりに増加幅が縮小した。ホームセンターは、前月比で改善はみられたものの 7 カ月連続でマイナスとなった。

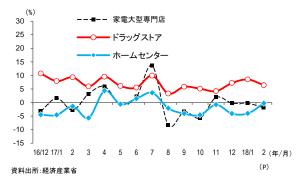
(注) 本項はすべて速報値である。

#### ● コンビニエンスストアの販売動向と店舗数



資料出所:経済産業省 (注)コンピニエンスストアの県別販売額は、2015年7月から の調査結果であり前年との比較は未掲載。

### ● その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)



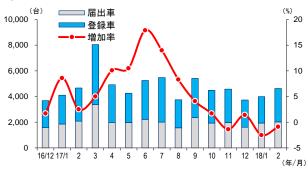
### 自動車販売

### 販売台数、2カ月連続のマイナス

2月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)ともに減少し、合計で前年同月比 0.9%減の 4,628 台と 2 カ月連続のマイナスとなった。

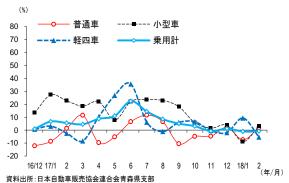
内訳別にみると、登録車は、普通乗用車が同 1.9%増、小型乗用車が同 3.0%増、貨物車が同 8.1%減 となり、登録車合計では同 0.4%増の 2,602 台と再びプラスとなった。届出車は、乗用車が同 5.3%減、貨物車が同 6.7%増となり、届出車合計では同 2.6%減の 2,026 台と 3 カ月ぶりのマイナスとなった。乗用車の登録・届出車合計販売台数は同 0.8%減の 3,787 台と 2 カ月連続のマイナスとなった。

### ● 自動車販売動向



資料出所:日本自動車販売協会連合会青森県支部

#### ● 乗用車販売動向(増加率)



### 観光動向

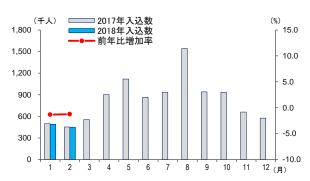
### 入込数3カ月連続のマイナス、宿泊者数4カ月連続プラス

2月の県内の観光動向は、県内 34 施設の入込数が前年同月比 1.3%減の 44 万 8,415 人と 3 カ月連続のマイナスとなった。施設別入込数は、八食センターが同 9.3%減の 14 万 317 人、弘前市立観光館が同 5.6%減の 3 万 6,511 人、むつ下北観光物産館が同 5.0%減の 1,394 人、アスパムが同 1.6%減の 6 万 1,171 人、浅虫水族館が同 0.6%減の 8,607 人とそれぞれ減少した。

一方、八甲田丸は同 28.4%増の 2,598 人、白神山地ビジターセンターは同 9.1%増の 1,067 人、太宰治記念館「斜陽館」は同 5.3%増の 2,478 人、石ヶ戸休憩所は 2.2%増の 7,382 人とそれぞれ増加した。

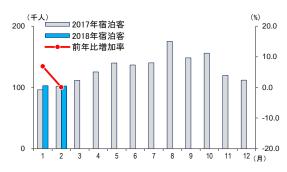
県内 53 施設 (青森市、弘前市、八戸市、むつ市)の宿泊者数は、前年同月より 40 人多い 10 万 2,163 人と微増ながら 4 カ月連続のプラスとなった。八戸市(18 施設)が同 10.4%増の 3 万 3,914 人、青森市(12 施設)が同 2.4%増の 2 万 5,949 人となった。一方、むつ市(6 施設)は同 11.8%減の 8,270 人、弘前市(17 施設)は同 7.2%減の 3 万 4,030 人となった。

#### ● 県内 34 施設入込数



資料出所:県観光国際戦略局観光企画課

#### ● 県内 53 施設宿泊者数



資料出所:県観光国際戦略局観光企画課

## 物価・雇用・金融

### 消費者物価指数

### 前月比上昇、石油関連が押し上げ

2月の青森市の消費者物価指数(2015年=100)は前月比 0.3%上昇、前年同月比 1.8%上昇の 102.0 となった。主要費目別に前月と比べると、「光熱・水道」が灯油などの上昇により 1.6%、「交通・通信」がガソリンなど自動車関係費の上昇により 0.8%、「保健医療」が医薬品などの上昇により 0.8%それぞれ上昇した。一方、「被服及び履物」は和服、洋服、下着類などの下落により 1.1%下落した。

前年同月比では、「光熱・水道」が灯油などの上昇により 5.9%、「食料」が生鮮野菜などの上昇により 3.1%、「保健医療」が保健医療サービスなどの上昇により 2.0%それぞれ上昇した。

なお「生鮮食品を除く総合指数」は 101.7 となり、前月比 0.3%上昇、前年同月比で 1.7%上昇した。

#### ● 消費者物価指数



資料出所:県統計分析課

### ● 費目別指数の動き (2018年2月)

	指	数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数		102.0	0.3	1.8
食料		106.1	0.1	3.1
住 居		99.9	0.0	△ 0.1
光熱•水道		101.2	1.6	5.9
家具·家事用品		100.6	△ 0.3	△ 0.7
被服及び履物		99.1	△ 1.1	0.8
保健医療		101.9	0.8	2.0
交通·通信		99.0	0.8	1.5
教 育		102.5	0.0	0.5
教養娯楽		101.6	△ 0.5	0.5
諸 雑 費		101.7	0.1	0.9

資料出所: 県統計分析課

### 雇用動向

### 有効求人倍率 1.32 倍、高水準が続く一方で、人手不足も課題

2月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比 3.6%増の 3万 418 人、有効求職者数は同 6.8%減の 2万 3,742 人となった。

新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比 11.5%増、臨時・季節求人数が同 1.1%減、パート求人数が同 6.5%減となり、全数では同 3.1%増の 1 万 1,653 人と再び増加した。

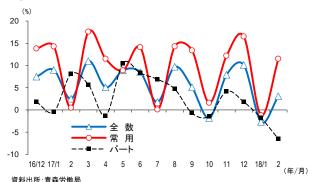
主要産業別の新規求人動向を前年同月比でみると、製造業、建設業、情報通信業、運輸業、郵便業、 医療、福祉などで増加した。一方、卸売・小売業、不動産業、宿泊業などで減少がみられた。

当月の有効求人倍率は前月から横ばいの 1.32 倍となった。県内の雇用状況は高水準が継続している 一方で、業種によっては人手不足も課題となっている。

#### ● 有効求人倍率



#### ● 新規求人数の増加率



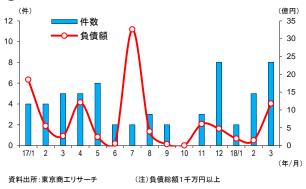
### 企業倒産

### 倒産件数 2 カ月連続増加、負債総額は 10 億円超

3月の県内企業倒産は、件数が前年同月比3件増の8件、負債総額は同9億1,200万円増の11億7,600万円となった。前月比では件数が3件増、負債総額は10億3,100万円増となった。業種別では、製造業が4件、建設業が2件、小売業、サービス業他が各1件となった。原因別では販売不振が5件、過小資本(運転資金の欠乏)、既往のシワ寄せ、信用性低下が各1件となった。

当月の倒産件数は、引き続き 1 桁台をキープしたものの、2 カ月連続で増加し、2017 年以降では 2017 年 12 月に並び最多となった。負債総額は、1 億円を超える倒産が 3 件発生し、2017 年 7 月以来の 10 億円超えとなった。地区別では、青森市、八戸市が各 3 件、弘前市、むつ市で各 1 件の発生となった。なお単月での従業員被害者数は 72 人となり、1 月からの累計では 116 人となった。

#### ● 企業倒産状況



### ● 業種別·原因別件数 (2018 年 3 月)

業種	件数
一次産業·鉱業	
建設業	2
製造業	4
卸売業	
小売業	1
金融·保険業	
不動産業	
運輸業	
情報通信業	
サービス業 他	1
合 計	8

原 因	件数
放漫経営	
過小資本	1
他社倒産の余波	
既往のシワ寄せ	1
信用低下	1
販売不振	5
売掛金回収難	
在庫状況悪化	
設備投資過大	
その他	
合 計	8

資料出所:東京商エリサーチ (負債総額1千万円以上)

### 金融動向

#### 預金、貸出金とも58カ月連続のプラス

2月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高は、実質預金が前年同月比 1.9% 増の 5 兆 693 億円、貸出金は同 4.4%増の 3 兆 319 億円とそれぞれ増加した。

預金は、個人預金、法人預金の増加から前年を上回り、58 カ月連続のプラスとなった。預金全体のプラス幅は前月比0.1 ポイント増加した。

貸出金は、住宅ローン、法人、地公体向けの増加から前年を上回り、58カ月連続のプラスとなった。 貸出金全体のプラス幅は前月比 0.1 ポイント減少した。

#### ● 預金の推移

#### ● 貸出金の推移



資料出所:日本銀行青森支店



#### 概況

#### 国内景気は、緩やかに回復している―

個人消費は、持ち直している。設備投資は緩やかに増加している。住宅建設は弱含んでいる。公共投資は底堅く推移している。輸出は持ち直している。輸入は持ち直しの動きがみられる。貿易・サービス収支の黒字は概ね横ばいとなっている。生産は緩やかに増加している。雇用情勢は着実に改善している。国内企業物価は緩やかに上昇している。消費者物価はこのところ緩やかに上昇している。

### 百貨店・スーパーの動向(既存店ベース)

#### ―4 カ月連続のプラス、持ち直しの動き―

2月の百貨店・スーパー販売額は前年同月比 0.6%増(速報)と4カ月連続のプラスとなった。業態別にみると、百貨店が同 0.3%増、スーパーが同 0.7%増となった。商品別にみると、衣料品が同 1.2%減、飲食料品が同 1.%増、その他商品が同 1.1%増となった。

#### 住宅建設

#### ─8 カ月連続のマイナス、弱含みで推移─

2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 2.6%減の 6万9,071 戸と8カ月連続のマイナスとなった。利用関係別では、持家が同 6.1%減と再びマイナス、貸家が同 4.6%減と9カ月連続のマイナスとなった。一方、分譲住宅は同 3.4%増と3カ月ぶりのプラスとなった。

#### 企業倒産

#### ―負債総額 2 カ月連続で前年同月比減―

2 月の企業倒産は、件数が前年同月比 10.3%減の 617 件、負債総額は同 22.3%減の 899 億 7,900 万円となっ た。倒産件数は、2 月としては 1990 年以来の低水準で あった。負債総額は、10 億円以上の大型倒産が同 5 割減 となったほか、1 億円未満の倒産件数が全体の 7 割を占 め、小規模な企業倒産を中心に推移し、2 カ月連続で前 年同月を下回った。

#### 為替動向

#### -3 月末終値 106 円 19 銭-

3 月の東京外国為替市場は前月末から反発。上旬は米国景気の先行き不透明感などから 105 円半ばまで円高が進行。中旬にかけては米朝首脳会談開催合意を受けドル買いが進み、一時 106 円後半まで円安が進んだが、米国務長官解任による米政権先行き不透明感などからドル売りが進み下旬にかけて 105 円前半まで円高が進んだ。月末にかけては朝鮮半島情勢への警戒感が和らぎ、106 円台で推移。月末終値は 106 円 19 銭。

#### 鉱工業生産指数

#### **―生産は緩やかな持ち直し―**

2 月の鉱工業生産指数は前月比 4.1%上昇の 103.4(速報、季節調整値)となった。輸送用機械、はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイスなどが上昇、石油・石炭製品、繊維などは低下した。総じてみれば生産は緩やかに持ち直している。3 月は、はん用・生産用・業務用機械、化学などの上昇により前月比 0.9%上昇を予測している。

### 新車販売(除く軽自動車)

#### **―5 カ月連続のマイナス―**

2月の国内新車販売は前年同月比4.9%減の29万6,665 台と5カ月連続のマイナスとなった。乗用車が同5.1% 減、貨物車が同2.7%減となった。乗用車は普通乗用車が同2.3%減と2カ月連続のマイナス、小型乗用車が同8.2%減と5カ月連続のマイナスとなった。

#### 完全失業率

#### ―前月比 0.1 ポイント上昇の 2.5%―

2月の完全失業率(季節調整値)は、前月比 0.1 ポイント上昇の 2.5%となった。完全失業者数は前年同月比 22万人減の 166万人となり、93カ月連続で減少した。求職理由別にみると、勤め先や事業の都合が前年同月比 9万人減の 20万人、自己都合が同 7万人減の 72万人などとなった。

#### 消費者物価指数

### ―前年同月比 1.5%上昇の 101.3―

2 月の全国消費者物価指数は前年同月比 1.5%上昇、前 月比(季節調整値)0.1%上昇の 101.3 となった。前年同 月に比べ、生鮮野菜・果物、電気代、灯油、ガソリンな ど)が上昇した。生鮮食品を除く総合指数は、前年同月 比1.0%上昇、前月比(季節調整値)0.1%上昇の100.6 となった。

#### 国際収支

#### --経常収支、2 兆 760 億円の黒字--

2月の経常収支額は、黒字額が2兆760億円となり、44カ月連続の黒字となった。黒字幅は前年同月比28.7%減(8,345億円縮小)となった。黒字幅の縮小は貿易収支、第一次所得収支の黒字幅縮小などによる。経常収支の内訳は、貿易・サービス収支が3,114億円の黒字、第一次所得収支が1兆9,481億円の黒字、第二次所得収支が1,835億円の赤字となった。

# 県内・国内トピックス3月

#### 県 内

#### 2月28日 本県の外国人延べ宿泊者数、過去最多の23万9,150人

観光庁の宿泊旅行統計調査によると、2017年の県内の外国人延べ宿泊者数(従業員 10人以上の施設)は23万9,150人で過去最多、前年比では67%増となり、伸び率は全国トップであった。

#### 「青天の霹靂」が3年連続で「特A」

日本穀物検定協会が発表した 2017 年産米の食味ランキングによると、本県の「青天の霹靂」は 3 年連続で最高評価の「特 A」を取得した。

#### 2016年の本県の製造品出荷額等が過去最高の1兆8,040億円

経済産業省の工業統計速報によると、統計、2016年の本県の製造品出荷額等(従業者 4 人以上の事業所)は1兆8,040億9,400万円となり開始の1909年以来、過去最高となった。前年比では6.0%増となり、伸び率は全国トップであった。

#### 3月1日 五所川原農林高校、農林水産省生産局長賞を受賞

農林水産省による 2017 年度の「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」で五所川原農林 高校が GAP 部門で大臣賞に次ぐ生産局長賞を受賞した。

#### 14日 八戸市の取り組み、RESAS 活用の施策立案事例として紹介

東北経済産業局は国の地域経済分析システム(RESAS)を活用した施策立案事例として、八戸市の「地域資源を活かした魅力ある観光創造に関する研究」の成果資料を HP 上で公表した。

#### 19日 青森銀行記念館を弘前市に寄贈

青森銀行と弘前市は国の重要文化財である青森銀行記念館(旧第五十九銀行本店本館)を市に寄贈する協定の調印式を行った。

#### 国内

#### 3月1日 10~12月期の企業設備投資、前年同期比 4.3%増

財務省が発表した  $10\sim12$  月期の法人企業統計調査によると、全産業(金融業、保険業を除く)の設備投資額は前年同期比 4.3%増の 11 兆 4,000 億円となった。経常利益は同 0.9%増の 20 兆 9,410 億円となり、 $10\sim12$  月期としては過去最高となった。

### 7日 景気動向一致指数、4カ月ぶりに下落

内閣府が発表した1月の景気動向指数によると、景気の現状を示す一致指数は前月比5.7ポイント下落の114.0となった。生産、出荷などの指標が悪化し、4カ月ぶりに下落した。

#### 8日 10~12 月 GDP 改定值、上方修正

内閣府が発表した 2017 年 10~12 月期四半期別 GDP (季節調整値)改定値は、物価変動を除いた実質で前期比 0.4%増、年率換算で 1.6%増となった。速報値から前期比で 0.3 ポイント、年率換算で 1.1 ポイント上方修正された。

#### 16日 3月の月例経済報告、基調判断据え置き

内閣府は3月の月例経済報告で、景気の基調判断を「緩やかに回復している」と、3カ月連続で据え置いた。

#### 大学生の就職内定率 91.2%

文部科学省、厚生労働省の発表によると、今春卒業予定の大学生の就職内定率(2 月 1 日現在)は 前年同期比 0.6 ポイント増の 91.2%となり、この時期のデータがある 2000 年以降で最高を更新 した。

#### 19日 2月の貿易黒字34億円

財務省の貿易統計速報(通関ベース)によると、2 月の輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は34 億円の黒字となった。黒字計上は2カ月ぶりとなる。

## 全国の主要経済指標

工員以工文程仍指示										
年次及び月	日銀券 発行高	国内銀行甚		国内銀行貸 出約定平均	景気動向指 数(一致)	国内企業 物価指数	消費者 物価指数	鉱工業 生産指数	機械受注 (季調済)	公共工事 請負額
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(平均残高·億 円)	実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)	金利 (年利%)	2010年=100	2015年=100	2015年=100	2010年=100	(億円)	(億円)
0040 (1105)	005 000					00.0	00.0	07.0	00 000	150 500
2013 (H25)	835, 998		449, 134	1. 258	_	99. 2	96. 6	97. 0		
2014 (H26)	866, 132	660, 844	461, 147	1. 180	-	102. 4	99. 2	99. 0		
2015 (H27)	908, 485	679, 106	475, 937	1. 110	_	100. 0	100.0	97. 8	100, 891	149, 257
2016 (H28)	961, 251	734, 342	491, 573	0. 998	-	96. 5	99. 9	97. 7	102, 600	154, 200
2017 (H29)	1, 004, 837			0. 946	-	98. 8	100. 4	102. 1	101, 431	157, 209
2016 (H28) 12	998, 207	734, 342	491, 573	0. 998	114. 5	97. 1	100. 1	100. 6	8, 660	13, 527
' '	1. 000. 204		491, 373					98.5		
2017 (H29) 1	, ,	734, 157	,	0. 996	113. 3		100.0		8, 416	
2	987, 652	735, 389	490, 872	0. 992	115. 2		99.8	101. 7	8, 506	
3	994, 636	748, 497	496, 374	0. 982	114. 4		99. 9		8, 539	24, 568
4	996, 652	753, 144	493, 836	0. 982	116. 5	98. 4	100. 3	103. 8	8, 358	
5	999, 953	753, 164	493, 993	0. 976	115. 6	98. 4	100. 4		8, 196	
6	995, 829	750, 914	495, 736	0. 969	116. 5	98. 5	100. 2	102. 3	7, 045	14, 660
7	1, 003, 958	753, 838	496, 157	0. 965	115. 5	98. 8	100. 1	101.5	8, 409	13, 713
8	1, 007, 793	754, 563	495, 975	0. 962	117. 4	98.8	100.3	103. 5	8, 679	13, 655
9	1, 005, 588	755, 163	500, 422	0. 955	116. 3	99. 1	100.5	102. 5	8, 201	15, 155
10	1, 009, 036	760, 429	498, 336	0. 955	116. 4	99. 4	100.6	103.0	8, 419	14, 202
11	1, 014, 718	764, 592	499, 827	0. 954	117. 7	99. 9	100.9	103. 5	8, 886	
12	1, 042, 023	763, 244	505, 238	0. 946	119. 7	100. 0	101. 2	106. 5	8, 060	13, 140
2018 (H30) 1	1, 044, 482	763, 495	504, 223	0. 943	114. 9	100. 3	101.3	99. 3	8, 723	8, 167
2	1, 033, 046			0. 940	P 115.6	P 100.3	101.3	P 103.4	8, 910	11, 322
前月比 %	-1. 1	0. 0	-0. 2	−0. 003ポイント	0. 7ポイント	0. 0	0. 1	4. 1	2. 1	38. 6
前年同月比%	4. 6	4. 0	2. 8	−0. 052ポイント	-	2. 5	1.5	1.4	2. 4	-2. 5
資料出所		日本	銀行		内閣府	日本銀行	総務省	経済産業省	内閣府	国土交通省

※消費者物価指数の前月比は季節調整値による ※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※機械受注は、船舶・電力を除く民需、前年同月比は原系列による

年次及び月	新設住宅 着工戸数	新車登録 届出台数	百貨店・スー パー販売額	企業	倒産	完全 失業率	国際収支 (経常)	東京 外為相場	日経平均 株価	日経 商品指数
1 712 6 71	(戸)	(乗用車) (千台)	(億円)	件 数 (件)	負債総額 (億円)	(季調済) (%)	(億円)	(月中平均) (円/US\$)	(東証1部 225銘 柄) (円)	(月末42種) ('70年=100)
2013 (H25)	980, 025	4, 562	197, 774	10, 855	27, 823	4. 0	44, 566	97. 71	16, 291. 31	188. 334
2014 (H26)	892, 261	4, 699	201, 973	9, 731	18, 741	3. 6	39, 215	105. 79	17, 450. 77	183. 036
2015 (H27)	909, 299	4, 216	200, 491	8, 812	21, 124	3. 4	165, 194	121. 09	19, 033. 71	160. 852
2016 (H28)	967, 237	4, 146		8, 446	20, 061	3. 1	210, 615	108. 77	19, 114. 37	168. 833
2017 (H29)	964, 641	4, 386	196, 025	8, 405	31, 676	2. 8	219, 514	112. 13	22, 764. 94	184. 488
2016 (H28) 12	78, 406				1, 717		10, 686	115. 95	19, 114. 37	168. 833
2017 (H29) 1	76, 491	343	16, 743	605	1, 285	3. 0	1, 145	114. 73	19, 041. 34	171. 743
2	70, 912	413		688	1, 158	2. 9	29, 105	113. 06	19, 118. 99	172. 284
3	75, 887	584		786	1, 668	2. 8	29, 959	113. 01	18, 909. 26	173. 696
4	83, 979	297	15, 581	680	1, 041	2. 8	19, 804	110. 06	19, 196. 74	
5	78, 481	312		802	1, 069	3. 0	16, 932	112. 21	19, 650. 57	172. 234
6	87, 456		15, 694	706	15, 883	2. 8	9, 252	110. 91	20, 033. 43	172. 118
7	83, 234		17, 179	714	1, 099		23, 471	112. 44	19, 925. 18	174. 141
8	80, 562	291	15, 655	639	924	2. 8	24, 007	109. 91	19, 646. 24	176. 718
9	83, 128			679	1, 158	2. 8	22, 583	110. 68	20, 356. 28	179. 875
10	83, 057	311	15, 888	733	959		21, 885	112. 96		180. 695
11	84, 703	333	16, 713	677	1, 457	2. 7	13, 407	112. 92	22, 724. 96	181. 862
12	76, 751	330		696	3, 976	2. 7	7, 965	112. 97	22, 764. 94	184. 488
2018 (H30) 1	66, 358		16, 826	635	1, 046	2. 4	P 6, 074	110. 77	23, 098. 29	185. 463
2	69, 071	402	P 14, 565	617	900	P 2.5	P 20, 760	107. 82	22, 068. 24	186. 434
前月比%	4. 1	18. 3	-0. 6	-2. 8	-13. 9	0. 1ポイント	-	-2. 7	-4. 5	0. 5
前年同月比%	-2. 6	-2. 8	0. 6	-10. 3	-22. 3	−0. 4ポイント	-28. 7	-4. 6	15. 4	8. 2
資料出所	国土交通省	自販協連合会	経済産業省	東京商工	リサーチ	総務省	財務省	日本銀行	日経親	所聞社

※百貨店・スーパー販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

※企業倒産は負債額1千万円以上

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口	1 (推計)	日銀券発行(-)還収	県内金	融機関	鉱工業 生産指数	公共工	事請負額	企業	倒産
半次及び方	(人)	社会動態(人) (転入一 転出)	超額(億 円)	実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	(季調済) 2010年=100	(百万円)	うち県分 (百万円)	件 数 (件)	負債総額 (百万円)
2013 (H25)	1, 347, 650	-5, 924	1, 762	48, 252	27, 298	106.4	197, 238	60, 716	53	11, 199
2014 (H26)	1, 333, 729	-6, 269	1, 957	49, 114	27, 890	106. 9	169, 394	58, 023	66	9, 485
2015 (H27)	1, 319, 297	-6, 205	2, 749	49, 540	28, 849	107. 8	151, 727	58, 460	52	6, 894
2016 (H28)	1, 305, 721	-5, 853	2, 929	50, 154	29, 878	110. 3	177, 083	65, 673	49	12, 227
2017 (H29)	1, 291, 206	-5, 592				110.5			44	8, 926
2016 (H28) 12	1, 292, 212	-187	689	50, 553	29, 188	112. 7	4, 763	960	2	389
2017 (H29) 1	1, 291, 206	-83	-159	49, 660	28, 985	112. 8	6, 617	1, 555	4	1, 847
2	1, 290, 008	-360	201	49, 733	29, 025	110. 5	9, 291	2, 262	4	551
3	1, 288, 791	-5, 346	220	50, 154	29, 878	102. 4	11, 732	3, 709	5	264
4	1, 282, 545	394	337	50, 692	29, 346	116. 4	33, 370	19, 622	5	1, 209
5	1, 282, 136	77	92	50, 470	29, 698	111. 2	16, 443	3, 824	6	239
6	1, 281, 461	-136	349	51, 021	29, 790	112. 3	18, 847	7, 687	2	55
7	1, 280, 651	-150	221	50, 510	29, 952	109. 3	19, 439	5, 894	2	3, 260
8	1, 279, 829	-90	236	50, 638	29, 979	113. 3	16, 318	4, 680	3	392
9	1, 278, 997	149	163	51, 096	30, 410	113. 0	20, 651	12, 264	2	35
10	1, 278, 581	158	448	50, 934	30, 361	110. 7	16, 173	4, 830	0	0
11	1, 277, 949	-70	198	50, 869	30, 344	109. 7	7, 877	3, 571	3	602
12	1, 277, 086	-135	713	51, 459	30, 486	107. 6	5, 301	1, 783	8	472
2018 (H30) 1	1, 276, 120	-118	-120	50, 573	30, 290	P 106.9	5, 471	399	2	195
2	1, 274, 940	-427	199	50, 693	30, 319		4, 231	2, 445	5	145
3	1, 273, 573								8	1, 176
前月比 %	-0. 1	_	-	0. 2	0. 1	-0.7	-22. 7	512. 8	60. 0	711. 0
前年同月比%	-1. 2		_	1. 9	4. 4	-5. 2	-54. 5	8. 1	60.0	345. 5
資料出所	県統	計分析課	日本	本銀行青森支	店	県統計分析課	東日本	建設業保証	東京商工	リサーチ

※人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年·月中の計数 ※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高 ※公共工事請負額の年次の欄は年度計数 ※日銀券の年次計数は年度累計

※鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による ※企業倒産は負債額1千万円以上

在加及了	新車	乗用車登録届	新記	<b>设住宅着工</b> 戸	ī数	新設住宅	消費者 物価指数	勤労者世帯 家計消費	毎月勤労	か統計調査
年次及び月	登録台数 (台)	出台数(台)	総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)	床面積 (千平米)	2015年=100 (青森市)	支出額 (青森市)(円)	現金給与総額 (円)	総実労働時間 (時間)
2013 (H25)	31, 442	49, 982	6, 461	4, 193	1, 958	632	96. 5	267, 928	257, 302	154. 4
2014 (H26)	31, 736	52, 046	5, 469	3, 387	1, 721	575	99. 8	259, 815	254, 237	155. 1
2015 (H27)	30, 680	44, 577	5, 686	3, 336	1, 820	586	100.0	255, 240	251, 066	154. 6
2016 (H28)	31, 217	43, 396	6, 494	3, 597	2, 256	651	99. 5	265, 004	252, 236	152. 5
2017 (H29)	33, 776	46, 625	6, 509	3, 703	2, 234	652	100. 5	269, 221	262, 558	155. 5
2016 (H28) 12	2, 119	2, 773	534	247	203	49	100. 2	319, 561	431, 088	155. 5
2017 (H29) 1	2, 241	3, 294	354	124	208	29	100. 4	291, 220	227, 354	144. 2
2	2, 591	3, 818	225	133	62	22	100. 2	275, 709	220, 920	151. 7
3	4, 683	6, 332	445	255	147	44	100. 3	314, 577	230, 618	157. 0
4	2, 952	3, 958	636	413	156	71	100. 4	296, 396	227, 689	157. 5
5	2, 267	3, 390	559	363	163	59	100.6	234, 487	224, 120	149. 4
6	3, 031	4, 251	594	387	178	65	100.5	269, 218	359, 373	159. 9
7	3, 468	4, 406	729	403	283	72	100. 3	241, 612	275. 063	159. 4
8	2, 184	2, 918	492	321	134	53	100. 3	244, 457	245, 172	152. 0
9	3, 079	4, 356	694	389	269	68	100. 3	231. 760		157. 6
10	2, 543	3, 573	668	326	293	62	100. 5	245, 979		158. 7
11	2, 607	3, 524	570	309	145	55	101. 0	262, 530		
12	2, 130	2, 805	543	280	196	52	101. 3	322, 705	,	
2018 (H30) 1	2, 062	3, 260	280	153	100	27	101. 7	251, 867	227. 568	144. 9
2	2, 602	3, 787	257	144	82	25	102. 0	201,007	227, 000	1 1 7 . 0
前月比 %	26. 2	16. 2	-8. 2	-5. 9		-7. 5	0. 3	-22. 0	-48. 8	-8. 9
前年同月比%	0. 4	-0.8	14. 2	8. 3	32. 3	13. 6	1.8	-13. 5	0. 0	0. 4
資料出所	自販協連合	`会青森県支部		県建築			県統計分析課	総務省	県統計	分析課

※毎月勤労統計調査は事業所規模5人以上を対象

## 青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	百貨店・スーパー	コンビニエン スストア販売 額 (百万円)	家電大型専 門店販売額	ドラッグストア	ホームセ ンター販		りんご	漁 業 (八戸港水揚高)		
, , , , , ,	販売額 (百万円)		(百万円)	販売額 (百万円)	売額 (百万円)	出荷量 (トン)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数 量 (トン)	金 額 (百万円)
2013 (H25)	179, 920	-	-	-	-	255, 696	317	191	97, 591	19, 672
2014 (H26)	177, 668	_	28, 532	40, 073	54, 090	296, 117	319	180	120, 530	22, 969
2015 (H27)	172, 465	-	26, 335	43, 523	54, 193	298, 255	329	209	113, 359	19, 699
2016 (H28)	168, 443	94, 851	26, 540	47, 970	51, 990	294, 359	391	190	99, 312	23, 436
2017 (H29)	169, 344	99, 007	26, 738	51, 086	51, 254				99, 972	19, 990
2016 (H28) 12	17, 777	8, 446		4, 360		29, 154	371	199	8, 037	
2017 (H29) 1	13, 996	7, 751	2, 658	4, 131	3, 542	31, 405	322	180	949	505
2	12, 425	7, 069		3, 823		31, 814	289	159	1, 181	581
3	14, 352	7, 912		3, 905	3, 630	36, 359	265	136		
4	13, 445	7, 996		4, 238	5, 066	34, 152	258	190		278
5	13, 761	8, 438		4, 215	5, 162	25, 368	286	-	880	
6	13, 345	8, 259		4, 316	4, 308	17, 792	325	-	1, 598	
7	14, 387	9, 146		4, 589	4, 756	12, 665	373	-	7, 857	2, 423
8	15, 245	9, 139		4, 514	4, 567	3, 334	391	-	6, 266	
9	12, 837	8, 336	1, 928	4, 191	3, 789	21, 473	259	178	14, 135	2, 999
10	13, 879	8, 520		4, 332	4, 152	24, 986	274	217	26, 039	
11	13, 563	7, 856		4, 159	4, 463	22, 730		217	29, 427	3, 373
12	18, 109	8, 585	2, 815	4, 673	4, 966	26, 132	323	203	9, 351	1, 611
2018 (H30) 1	14, 106	7, 868		4, 484	3, 401	32, 739	303	209	728	346
2	P 12, 450	P 7, 079	P 1, 781	P 4, 068	P 2, 845	31, 089	310	236	2, 095	1, 136
前月比 %	_	-10.0		-9.3	-16. 3	-5.0	2. 3		187. 8	228. 1
前年同月比%	-1.1	0.1	-1. 9	6. 4	-0. 3	-2. 3	7. 3		77. 4	95. 6
資料出所	経済産業省					県りんご果樹課			八戸市水産事務所	

※百貨店・スーパー販売額の前年同月比は既存店ベース増減率 ※りんご年次欄はりんご年度の計数

年次及び月	有効求人	新規求人	雇用保険		貿 易 (青森港)		貿 (八戸	易 <sup>[</sup> 港)	青森県景気 ウォッチャー調査	あおぎん
】 「一件のの	倍率(倍)	倍率(倍)	受給人員 (人)	受給金額 (百万円)	輸 出 (百万円)	輸 入 (百万円)	輸 出 (百万円)	輸 入 (百万円)	(現状判断 DI)	BSI
2013 (H25)	0. 72	1.06	_	12, 291	7, 651	35, 866	122, 070	141, 664	-	-
2014 (H26)	0. 81	1. 16	-	11, 408	7, 733	34, 824	132, 609	177, 830	-	_
2015 (H27)	0. 95	1. 34	-	10, 654	5, 913	25, 041	129, 394	192, 285	-	_
2016 (H28)	1. 13	1. 57	-	9, 586	4, 577	14, 834	125, 646	147, 564	-	_
2017 (H29)			_		5, 701	22, 869	123, 942	159, 810	-	-
2016 (H28) 12	1. 18	1. 61	5, 878	657	367	2, 265	12, 430	12, 878	_	
2017 (H29) 1	1. 20		9, 561	1, 472	424	2, 665	12, 016	12, 750	47. 3	)
2	1. 18	1. 55	6, 856	856	691	3, 233	9, 577	8, 038	-	<b>≻</b> −8. 6
3	1. 19	1. 63	6, 174	789	386	1, 279	12, 664	18, 953		J
4	1. 20	1. 63	5, 523	647	381	2, 179	8, 674	11, 439		٦
5	1. 22	1. 71	6, 608	818	208	1, 287	11, 908	12, 484	-	<b>≻</b> 0.8
6	1. 24	1. 74	6, 260	732	1, 009	1, 986	10, 133	9, 331	-	ر
7	1. 24	1. 67	6, 218	670	336	0	10, 752	17, 138	50. 8	<b>1</b>
8	1. 27	1. 73	6, 992	866	475	1, 300	13, 371	12, 754	-	<b>├</b> -1.6
9	1. 25	1. 75	5, 693	613	368	581	5, 374	12, 680	-	J
10	1. 26	1. 68	5, 441	595	239	1, 627	11, 173	14, 616	46. 5	)
11	1. 28	1. 83	5, 368	630	467	3, 688	10, 801	15, 501	-	<b>├</b> -4. 7
12	1. 31	1. 95	5, 488	613	718	3, 043	7, 498	14, 130	-	)
2018 (H30) 1	1. 32	1. 74	8, 752	1, 346	410	3, 046	9, 399	12, 930	51.3	
2	1. 32	1. 81	6, 381	808	512	2, 858	10, 487	12, 532	_	
前月比 %	0.00ポイント	0.07ポイント	-27. 1	-39. 9	24. 9	-6. 2	11. 6	-3. 1	4. 8ポイント	−3. 1ポイント
前年同月比%	0. 14ポイント	0. 26ポイント	-6. 9	-5. 6	-26. 0	-11.6	9. 5	54. 6	-	-
資料出所	青森労働局			函館	函館税関、青森支署・八戸支署			県統計分析課	青森銀行	

<sup>※</sup>求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

※雇用保険の年次の値は年度計数

## 青森県の主要経済指標・各種統計 3 → ↓県内主要都市・地区各種指標

<u> </u>				170HI -	人水门工女部门			心产 口 注 171末		
年次及び月	観光施設入 込客数(人)	宿泊者数	青森空港乗 降客数	パスポート 発行件数 (件)	三市の宿泊者数 (人)			地区 BSI		
, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		(人)	(定期便) (人)		青森市 (12施設)	弘前市 (17施設)	八戸市 (18施設)	青森	津軽	県南
2013 (H25)	10, 408, 710	1, 504, 534	848, 951	14, 968	378, 911	483, 842	505, 059	-	_	_
2014 (H26)	9, 881, 300	1, 498, 169	903, 389	13, 560	374, 463	487, 827	505, 045	-	_	_
2015 (H27)	9, 987, 354	1, 497, 981	981, 175	13, 301	373, 938	518, 399	462, 499	-	_	_
2016 (H28)	9, 885, 612	1, 512, 154	1, 061, 995	14, 904	378, 634	535, 657	459, 793	-	_	_
2017 (H29)	9, 981, 272	1, 562, 278	1, 137, 982	15, 396	377, 619	553, 031	486, 259	-	_	_
2016 (H28) 12	,		73, 795							
2017 (H29) 1	497, 539	96, 137	69, 552	1, 438	26, 442	31, 206	29, 804		۱	١
2	454, 099	102, 123	68, 725	1, 124	25, 345	36, 677	30, 724	} −8.0	<b>-10.8</b>	<b>├</b> -7.4
3	555, 021	111, 481	86, 184	1, 354	25, 650	38, 804	36, 881	J	را	J
4	902, 809	125, 243	84, 282	1, 158	29, 065	47, 835	38, 215	1	٦	١
5	1, 117, 594	139, 792	107, 049	1, 181	33, 070	51, 590	41, 345	<b>-</b> 4.6	<b>-</b> 4.4	<b>}</b> −5. 8
6	864, 790	136, 611	106, 806	1, 262	31, 857	48, 616	42, 623	J	J	ا
7	935, 501	140, 006	102, 081	1, 353	32, 639	48, 018	44, 068	٦	١	٦ .
8	1, 542, 669	175, 190	119, 154	1, 705	44, 710	63, 656	51, 372	<b>-</b> 0.0	-8.5	<b>}</b> 2.4
9	940, 738	148, 289	104, 595	1, 213	35, 661	52, 723	45, 181	J	ا ا	J
10	934, 502	155, 819	108, 336	1, 217	40, 730	55, 016	45, 441	١	١	٦ .
11	660, 560	119, 679	99, 258	1, 171	27, 567	41, 749	39, 440	<b>├</b> -4. 7	<b>├</b> −15. 2	3.7
12	575, 450	111, 908	81, 960	1, 220	24, 883	37, 141	41, 165	J	ا ا	ر
2018 (H30) 1	490, 920	102, 722	79, 516	1, 553	27, 784	34, 272	32, 662			
2	448, 415	102, 163			25, 949	34, 030	33, 914			
前月(期)比%	-8. 7	-0. 5	-2. 5	-21. 4	-6. 6	-0. 7	3.8	−4. 7ポイント	−6. 7ポイント	1. 3ポイント
前年同月(期)比%	-1. 3	0.0	12. 8	8. 6	2. 4	-7. 2	10. 4	_	_	_
資料出所	県観光	企画課	空港管理事務所	県統計分析課	ļ	<b>具観光企画</b> 課		青森銀行		
>> 年 小 <del>大</del> 元 ユ	4			主木士 コギ	*		三元 (0016 フェ			

※観光施設入込客数は県内34施設合計、宿泊者数は青森市、弘前市、八戸市、むつ市53施設(2016.7以降)合計

年次及び月		推計人口 (人)			録車)販売台 型特殊車除ぐ		新設住宅着工戸数 (戸)			
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	
2013 (H25)	295, 145	181, 057	235, 585	7, 740	3, 612	6, 467	1, 665	822	1, 457	
2014 (H26)	292, 769	179, 582	233, 951	7, 669	3, 704	6, 564	1, 445	761	1, 197	
2015 (H27)	290, 251	178, 098	232, 634	7, 424	3, 598	6, 101	1, 378	871	1, 395	
2016 (H28)	287, 160	177, 383	231, 098	7, 829	3, 578	6, 411	1, 761	1, 084	1, 463	
2017 (H29)	284, 257	175, 777	229, 287	8, 324	4, 119	7, 049	1, 718	1, 075	1, 519	
2017 (H29) 1	284, 257	175, 777	229, 287	526	266	483	59	53	110	
2	283, 948	175, 672	229, 190	607	311	512	74	20	78	
3	283, 671	175, 440	229, 131	1, 217	635	855	105	84	132	
4	281, 920	174, 190	228, 168	691	341	692	184	88	138	
5	282, 743	174, 701	228, 100	562	286	470	173	78	112	
6	282, 704	174, 630	228, 021	737	409	618	153	103	147	
7	282, 519	174, 507	227, 987	936	366	849	198	126	150	
8	282, 324	174, 366	227, 965	494	267	473	122	89	108	
9	282, 207	174, 310	227, 796	723	399	635	229	83	146	
10	282, 032	174, 287	227, 778	627	263	520	178	135	97	
11	282, 023	174, 228	227, 704	656	300	532	111	116	164	
12	281, 822	174, 171	227, 639	548	276	410	132	100	137	
2018 (H30) 1	281, 694	174, 106	227, 459	468	220	449	61	56	79	
2	281, 405	174, 001	227, 321	566	324	497	33	36	78	
3	281, 130	173, 821	227, 090							
前月比%	-0. 1	-0. 1	-0. 1	20. 9	47. 3	10. 7	-45. 9	-35. 7	-1. 3	
前年同月比%	-0.9	-0.9	-0.9	-6. 8	4. 2	-2. 9	-55. 4	80.0	0.0	
資料出所	県統計分析課			自販協	連合会青森與	表部	県建築住宅課			